

2024 動物用ワクチン戦略中間取りまとめ（概要）

現状と課題

ニーズの高まり

- アフリカ豚熱など防疫上のリスク増による、ワクチンニーズの高まり
- 薬剤耐性対策は国際的にも喫緊の課題であり、「ワクチンによる予防」にシフトする必要

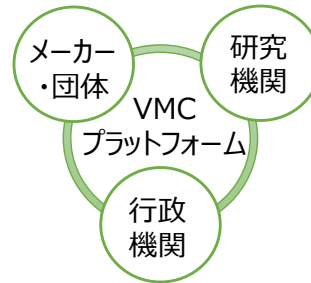
開発・供給体制の減退

- 製品開発における国際競争力の後退
- 不採算品目の整理・終売による取扱い品目の縮小
- 製造ラインの更新・増設への投資意欲の減退

畜水産業の生産現場が求めているワクチンの**迅速な開発・実用化、安定供給に向けた体制の構築**が急務

戦略における取組み

以下の開発・承認・製造・販売体制の強化に向けた取組の実現に向け、**産学官の連携プラットフォーム**を立ち上げ



VMC:
Veterinary Medicine Industry-Academia-Government Collaboration

開発の促進・迅速な実用化

- ・ 開発を促進するため、VMC体制のもとで情報共有の場を設け、研究から実用化への橋渡しを円滑化
- ・ 新技術を用いた製品を適切に評価するためのガイドラインを作成

製造能力の強化・技術の蓄積

- ・ 必要量のワクチンを必要なタイミングで供給するため、増産や保管が可能な施設・設備を整備
- ・ 疾病の終息等により製造を停止したワクチンについても再流行に応じた迅速な製造を可能とするため、製造技術及び体制を維持・整備

承認制度の最適化

- ・ 開発・維持コストを縮小し迅速に供給するため、科学的知見に基づき、実態に即した最適な規制を検討
- ・ 流行株の性状にあったワクチンを迅速に供給するため合理的な制度について検討

販売体制の強化

- ・ より大きな市場を獲得するため、海外の規制やニーズの調査を実施

目指す将来像

- ✓ 必要なワクチンが**迅速に開発**され、**安定的に流通**
- ✓ **不測事態**にも対応可能な**製造**
- ✓ **アフリカ豚熱**のような重大な疾病のまん延リスクが減少
- ✓ 下痢や肺炎等の**慢性疾病**による経済損失が減少
- ✓ **終息した疾病の再流行**に対する備え
- ✓ 輸出による市場拡大

食料安全保障や近隣アジア諸国も含めた畜水産物生産の持続可能性の強化に貢献